

38. 行政が開催する認知症カフェに参加しない高齢者の憩いの場所提供

グループ名 憩いの郷 あん

代表者 安藤 道子

① 活動の目的

- ・高齢者や一人暮らしの方が気楽に集える場所を提供する。
- ・安否確認や傾聴も兼ねる。
- ・何度も訪れることにより顔見知りとなったり、ご近所さんを誘って大きな輪ができ、楽しい会話の時間を過ごすことができる。
- ・誘い合って出かけることで引きこもり防止になる。

② 活動概要

開催日時／ 毎週月曜日 午前9時から11時30分

場 所／ 中央公民館

参加費／ 協力金100円。コーヒーか紅茶にお菓子を添える。

スタッフ／ 民生児童委員を中心に、趣旨に賛同する27名が交代で運営。

イベント等／ クリスマスにはスタッフがサンタクロースのコスチュームで迎えたり、バレンタイン・雛まつりなどに特別なお菓子を振る舞うなど、季節感を大切にしている。

また、警察の犯罪に対する注意喚起や、看護師による健康相談などもおこなっている。

そ の 他／ 障がい者施設の授産製品やパン、農家の野菜を販売したり、来場者同士で不用品の交換などもしている。

③ 決算報告書

| | | |
|-----|--------------------|----------|
| 収 入 | 大同生命厚生事業団助成金 | 100,000円 |
| 支 出 | 抗菌カーペット | 64,800円 |
| | スタッフTシャツ@1,000×30枚 | 30,000円 |
| | 会場入り口の暖簾 | 6,000円 |
| | 写真代 | 2,000円 |
| 合 計 | | 102,800円 |



購入品／抗菌カーペット



購入品／スタッフ Tシャツ



購入品／Tシャツ着衣後



購入品／オリジナルのれん



看護師による健康相談



地元野菜を販売